

今後の予算の考え方について

●事業に至るまでのスケジュール

- step1 H27.3～ 市民会議設置スタート(規約、役員決定(運営委員会、部会、事務局等))
- step2 地域計画の策定
- step3 事業スタート(会議設立準備金の交付)

●H27,28 当初予算に向けた考え方

- H27.3 からスタートするにあたり、5 地区(北条,谷川,住道,南郷,諸福)において議論が進展
- 5地区から提案頂いている内容としては、防犯・防災マップ作成やあいさつ運動の実施など、予算を必要とする見込み



H27,28 年度予算

- H27 年度は、会議形式の固定メンバーだけでなく、多くの住民が市民会議の活動に参加し、今後、メンバーとなって活動して頂ける機会をつくる。
- 5地区以外の3地区についても市民会議を設立し、全世代の住民が活動できるよう、積極的に推進していただける予算を編成したい。

予算編成の考え(案)

H27、28年度当初予算

- 8地区分の予算(会議設立準備金)を計上し、市民会議の正式な創設の促進を図る。

H29年度以降の予算

- H27、28 年度中に創設した市民会議において、H29 年度以降の事業内容を検討。
- その後、「地域計画」を立て具体的な事業予算を要求して頂く(上限額は別途決定したもの)。

- ・ H27,28 年度は、全地域で市民会議を創設し、全世代の住民が参加できるよう取組を推進
- ・ H29 年度以降は、それぞれの地域が事業実施に必要な予算を考え、上限額の範囲内で予算を編成する。